

グローバル・ボンド・ニューマーケット (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

愛称：星こよみ

第147期末 (2019年 1月24日)	
基準価額	4,155円
純資産総額	5,582百万円
第142期～第147期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-1.4%
分配金合計(*)	120円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 各期の分配金を合計したものです。

第142期 (決算日：2018年 8月24日)
 第143期 (決算日：2018年 9月25日)
 第144期 (決算日：2018年10月24日)
 第145期 (決算日：2018年11月26日)
 第146期 (決算日：2018年12月25日)
 第147期 (決算日：2019年 1月24日)

作成対象期間
 (2018年 7月25日～2019年 1月24日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざすことを目的としています。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書(全体版)を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

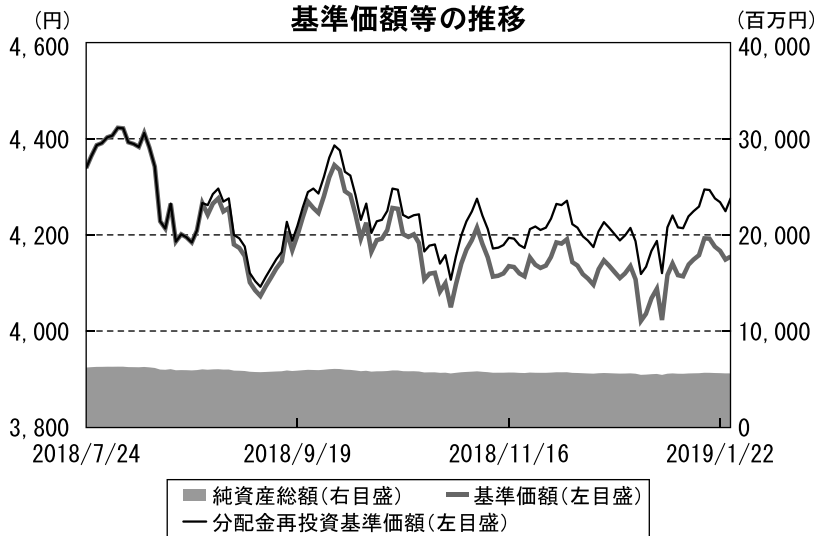
お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 (受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第142期～第147期：2018/7/25～2019/1/24）

基準価額の動き 基準価額は当作成期首に比べ1.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



第142期首： 4,339円
第147期末： 4,155円
（既払分配金 120円）
騰落率： -1.4%
（分配金再投資ベース）

・当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことや、米国の金利が低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	投資国通貨が対円で下落したことや、南アフリカ・メキシコの金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

（2018年7月25日～2019年1月24日）

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	第142期～第147期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 25	% 0.598	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(13)	(0.299)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.272)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.015	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	26	0.613	
作成期中の平均基準価額は、4,191円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

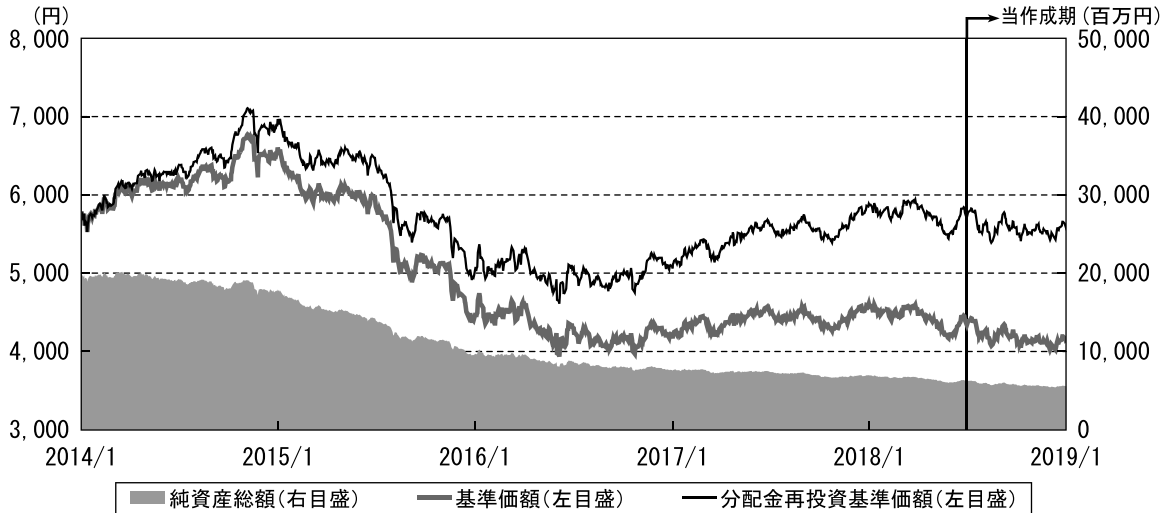
【費用開示の仕組み】

下記 部分の費用が費用明細に含まれています。



最近5年間の基準価額等の推移について

（2014年1月24日～2019年1月24日）



・分配金再投資基準価額は、2014年1月24日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

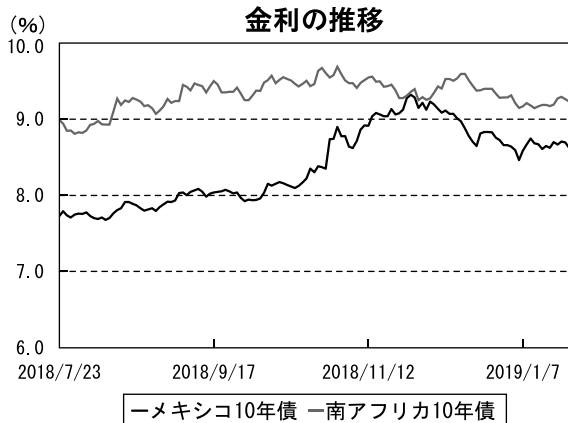
	2014/1/24 期初	2015/1/26 決算日	2016/1/25 決算日	2017/1/24 決算日	2018/1/24 決算日	2019/1/24 決算日
基準価額（円）	5,786	6,512	4,489	4,167	4,578	4,155
期間分配金合計（税込み）（円）	—	360	360	300	240	240
分配金再投資基準価額騰落率	—	19.3%	-26.4%	-0.4%	16.0%	-4.0%
純資産総額（百万円）	19,925	17,654	9,723	7,558	6,950	5,582

・ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

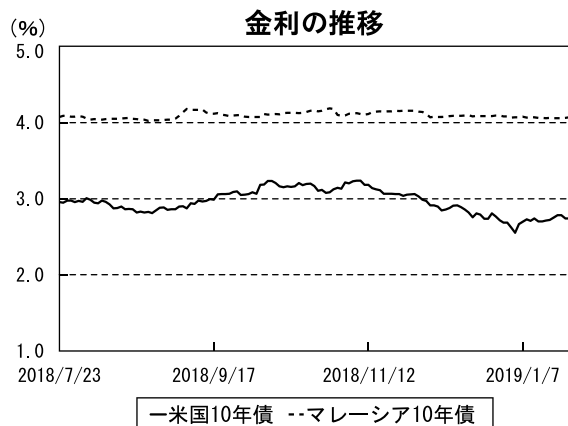
当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について

（第142期～第147期：2018/7/25～2019/1/24）



（注）現地日付ベースで記載しております。

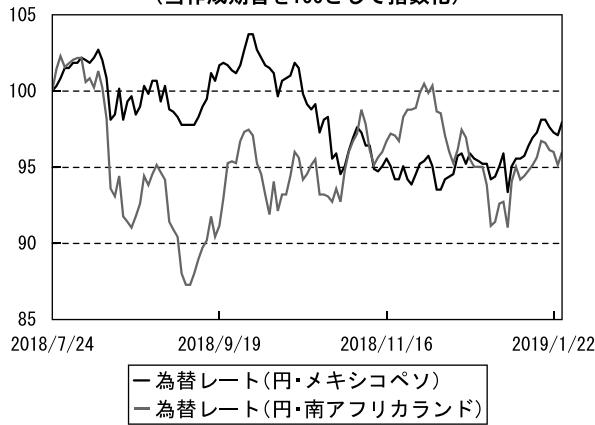


（注）現地日付ベースで記載しております。

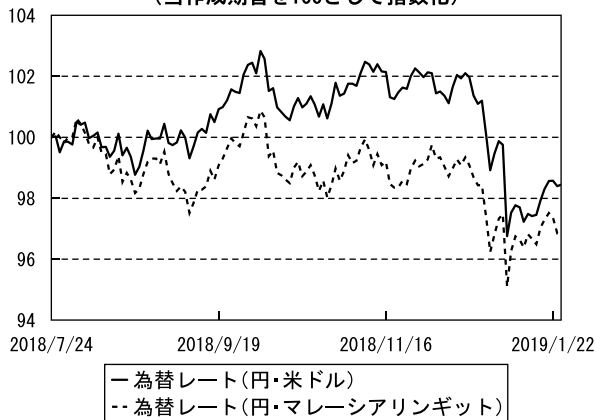
◎債券市況

- ・米国の長期金利は低下した一方、南アフリカ・メキシコの長期金利は上昇しました。また、マレーシアの長期金利はほぼ横ばいとなりました。
- ・当作成期首から2018年11月中旬にかけて、米国で発表された経済指標が堅調であったことや、同国の利上げ観測が高まったことなどを背景に、投資国の長期金利は上昇基調で推移しました。南アフリカでは、景気低迷懸念による通貨下落を受けてインフレ期待が上昇したことなども長期金利の上昇要因となったほか、メキシコでは、10月から11月にかけて、ロペスオブラドール新政権の政策運営に対する懸念が高まったことなども、長期金利の上昇要因となりました。
- ・その後、当作成期末にかけては、米中間の通商問題に対する懸念が高まったことや、株式・原油市況の下落を背景に市場のインフレ期待が後退したこと、米国の利上げ観測が後退したことなどから、投資国の長期金利は低下しました。
- ・結果、当作成期を通じてみると、米国の長期金利は低下した一方、南アフリカ・メキシコの長期金利は上昇しました。また、マレーシアの長期金利はほぼ横ばいとなりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米ドル・南アフリカランド・メキシコペソ・マレーシアリングgitは対円で下落しました。
- ・米ドル・マレーシアリングgitは、2018年12月中旬にかけて概ねもみ合いで推移しましたが、その後、グローバルな株式市場の下落を背景に、投資家のリスク回避的な姿勢が強まったことなどから、対円で下落しました。南アフリカランドは、8月に、トルコ金融市場の混乱などを背景に新興国に対する投資家のセンチメントが悪化したことや、9月上旬に発表された2018年4－6月期の国内総生産（GDP）成長率が1－3月期に続きマイナスとなり、景気低迷への懸念が高まったことなどから、対円で下落しました。また、メキシコペソは、トルコ金融市場の混乱などを背景とした投資家センチメントの悪化や、10月から11月にかけて、ロペスオブラドール新政権の政策運営に対する懸念が高まったことなどから、対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.8%の下落となりました。

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、作成期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。
- ・債券の利子収益を享受したことや、米国の金利が低下したことなどがプラスに寄与したものの、投資国通貨が対円で下落したことや、南アフリカ・メキシコの金利が上昇したことなどがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2018年7月24日）

最終利回り	6.2%
直接利回り	6.1%
デュレーション	5.5年

作成期末（2019年1月24日）

最終利回り	6.6%
直接利回り	6.2%
デュレーション	5.6年



- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2018年7月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	10.8%	5
AA格	0.0%	0
A格	58.3%	14
BBB格	26.6%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末（2019年1月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	9.3%	5
AA格	0.0%	0
A格	57.9%	14
BBB格	28.3%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
	2018年7月25日～ 2018年8月24日	2018年8月25日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月24日	2018年10月25日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月24日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.469%	0.468%	0.476%	0.481%	0.495%	0.479%
当期の収益	17	20	16	18	16	20
当期の収益以外	2	—	3	1	3	—
翌期繰越分配対象額	147	147	144	143	139	140

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見直し

- ・アッパーミドル諸国においては、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、中間所得層の増加などを背景とした個人消費の拡大が期待されます。
- ・主要先進国の金利は低位で推移しており、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や地政学リスクの高まりなどの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

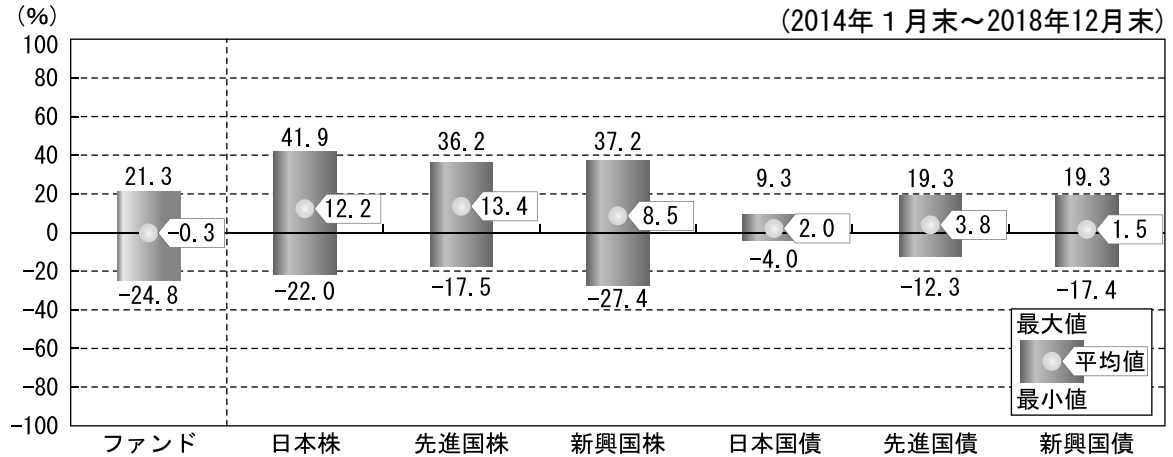
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
運用方法	アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を実質的な主要投資対象とし、信用格付けがA-～A+格相当の国を中心に金利水準が高い国の債券に分散投資することにより、安定した収益および債券の利子収益の獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2019年1月24日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第147期末 2019年1月24日
<input checked="" type="checkbox"/> グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	99.8%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

上記 の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

純資産等

項 目	第142期末 2018年8月24日	第143期末 2018年9月25日	第144期末 2018年10月24日	第145期末 2018年11月26日	第146期末 2018年12月25日	第147期末 2019年1月24日
純資産総額	5,960,154,082円	5,931,152,666円	5,776,459,358円	5,643,632,680円	5,427,981,420円	5,582,008,390円
受益権口数	14,050,925,183口	13,935,523,812口	13,809,743,400口	13,637,062,404口	13,498,501,907口	13,434,707,809口
1万口当たり基準価額	4,242円	4,256円	4,183円	4,138円	4,021円	4,155円

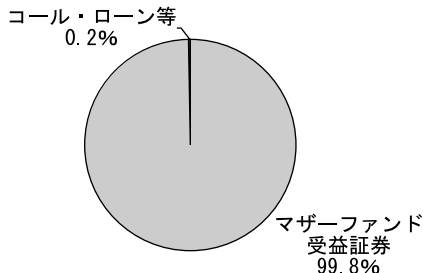
・当作成期間中（第142期～第147期）において

追加設定元本は 74,472,100円

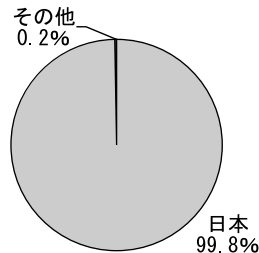
同解約元本は 898,731,943円 です。

種別構成等

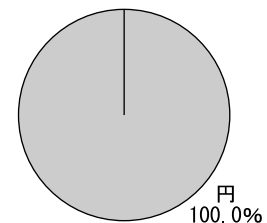
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

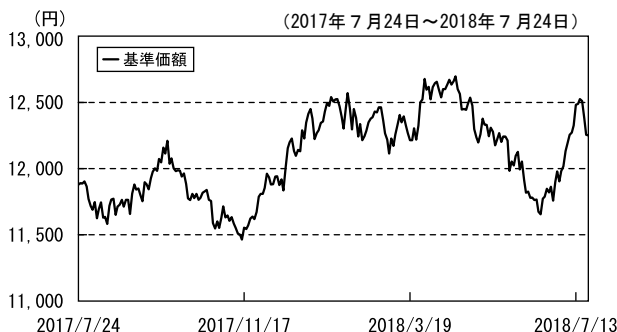
・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

（2018年7月24日現在）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

基準価額の推移



組入上位10銘柄

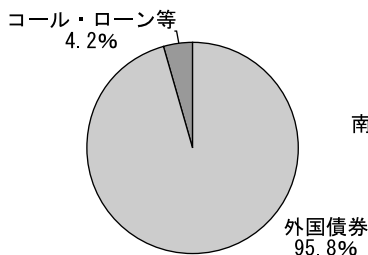
（組入銘柄数：24銘柄）

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	6.5 SOUTH AFRICA 410228	債券	南アフリカ	国債	11.7%
2	4.048 MALAYSIA 210930	債券	マレーシア	国債	10.1%
3	3.654 MALAYSIAGOV 191031	債券	マレーシア	国債	6.5%
4	10.5 SOUTH AFRICA 261221	債券	南アフリカ	国債	6.3%
5	7.75 MEXICAN BONO 421113	債券	メキシコ	国債	6.0%
6	3.899 MALAYSIAGOV 271116	債券	マレーシア	国債	5.9%
7	8 MEXICAN BONOS 231207	債券	メキシコ	国債	5.4%
8	8.5 MEXICAN BONOS 181213	債券	メキシコ	国債	5.2%
9	3.125 T-NOTE 190515	債券	アメリカ	国債	4.5%
10	3.955 MALAYSIAGOV 250915	債券	マレーシア	国債	4.4%

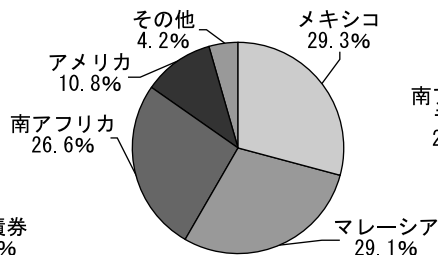
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

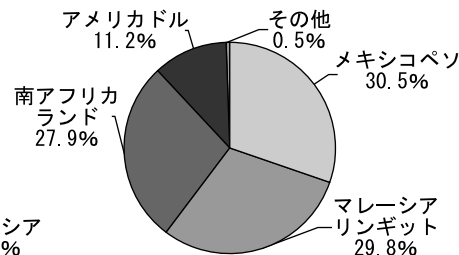
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

（2017年7月25日～2018年7月24日）

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用	3	0.026
（保管費用）	(3)	(0.026)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	3	0.026

期中の平均基準価額は、12,077円です。

（注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

- （注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- （注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。